

第 72 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
一般社団法人テレコムサービス協会MVNO委員会への追加質問及び回答
(モバイル接続料の検証関係)

問 議論の進め方という点について、株式会社NTTドコモ説明資料 P. 14 の準備期間のスケジュール及びKDDI株式会社説明資料 P. 4 のデータ接続料に関するMVNO側の影響や負担に関しまして、MVNO委員会の理解や具体的な受け止め方について教えてください。

(西村暢史構成員)

(MVNO委員会回答)

- 接続料の算定について、恣意的な費用計上・配賦がなされないよう、適切かつ共通的な考え方をを用いることは、仮にデータ接続料に対し上振れの可能性があるととしても、適正性の確保の観点から重要であると考えます。
- 今回ご質問を頂いた点につきまして、システム対応や会計整理等には一定の期間を要することは理解できる一方、その期間の妥当性を確認することは必要であると考えます。また、NTTドコモ殿資料では、新基準による費用計上について 2024 年度より実施する旨が記載されていたところ、データ接続料の水準は MVNO 各社の事業計画等に大きく影響を及ぼすことから、まずは基準見直しによる影響把握を行い、新基準への移行期間や段階的導入など具体的な制度整備の在り方に向けた議論が行える環境を整えることが良いと考えます。

以 上